

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	慈恵医大病院における心臓カテーテルの実態調査		
1. 研究の目的と方法	心臓カテーテルは、虚血性心疾患に罹患した患者さんにとって非常に重要な位置を占めている検査及び治療法として確立されています。しかしながら検査による病変形態に影響を与える因子や治療による成功率や合併症発生率などのデータははっきりしていません。本研究では、当院で行う心臓カテーテルの実態を把握し、それらを解析することで今後有益な治療法を確立することを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	研究機関：■附属病院 □葛飾医療センター □第三病院 □柏病院 対象となる方：虚血性心疾患、心筋症、不整脈、心臓弁膜症等の心疾患がある患者さんで、上記研究機関で倫理委員会承認日～2026年3月31日の間に心臓カテーテル治療（検査）を受けた方。また、倫理委員会受付番号 21-131(6592) 「慈恵医大関連施設における心血管インターベンションの実態調査」、倫理委員会受付番号 24-355(7121) 「血漿BNP値に影響を及ぼす臨床的因子の検討」に登録いただいた患者さんのデータも含まれます。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、心臓カテーテル検査結果）、検査及び治療に使用した器材	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。 また、過去の先行研究（21-131(6592) 「慈恵医大関連施設における心血管インターベンションの実態調査」、24-355(7121) 「血漿BNP値に影響を及ぼす臨床的因子の検討」）で取得されたデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 循環器内科講座
		氏名	小川 崇之
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の	(1)の研究責任者と同じ	

	管理責任者	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて		この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2021年5月頃～
【問い合わせ先】		機関名：東京慈恵会医科大学 循環器内科講座 研究責任者：小川 崇之（おがわ たかゆき） 電話番号：03-3433-1111（内線：3261） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。